



花いっぱい運動

コミ協環境・衛生部会では年間行事のひとつとして、花いっぱい運動(年3回)を実施しています。

一回目は、7月8日(土)朝9時より富士中学校の先生、生徒、保護者の方々等約100名のご協力を得て、県道鳩ヶ谷別府線沿いの両側歩道13区画に季節の花(ペゴニア)を穴掘り、花植え、水やり、後片付けと分担して作業を行いました。

今年には花植えをした場所に、富士中学校の生徒活動を表示した立て看板を設置致しました。

残念なことに、心ない人達が植えたばかりの花を持ち帰ってしまった。



う事が見受けられるからです。今後は、このような事がなくなるよう願いたいものです。

これからも地域を明るく、きれいで安全な町にするために、環境・衛生部会は活動を続けてまいります。皆様のご協力をお願いします。



「救急救命講座」開催

去る7月15日(土)午前9時30分より南越谷地区センターにて、「救急救命講座」が開催されました。

◆主催 南越谷地区コミュニティ推進協議会防災部会

◆受講者 南越谷地区住民23名

◆講師 越谷市消防署蒲生分署の埜口救急隊長及び本署、谷中、間久里、大相模分署の消防隊員



主催の白井俊市副会長、南越谷地区センターの江原賢治センター長の挨拶に続き、器具を使わない従来からの救命方法と、AED(自動体外式除細動器)を使った方法の二つを学びました。

どちらも埜口救急隊長の説明を受けた後、5班に分かれて実習を行いました。

受講者の中には自分の母親が倒れたとき、自分が何もしてやれず、友人に助けってもらったことがあったので、今度は自分だと思いついて受講したという主婦等一般の方と富士中学校生徒約10名が参加しました。

皆真剣な表情で訓練の人形に人

工呼吸を施したり、AEDのパッドを貼り付けていました。



AEDとは

心室細動などの不整脈をおこし、突然心停止に陥った心臓に電気ショックを与えて元の状態に戻す救命器具。携帯型で、音声ガイドに従って操作すれば誰でも簡単に使用可能。心停止後、3分以内に除細動を行えば、4人中3人は助かると言われています。平成16年7月から一般市民による使用が認められました。現在このAEDは南越谷地区センター内にも設置されています。



東京のふるさと 檜原村へ



コミ協福祉部会主催の「高齢者社会科見学」が8月22日(火)午前8時30分、南越谷地区センターと赤山4丁目ふれあい公園に集合し、越谷市のバス3台で一路東京のふるさとと目される檜原村(西多摩郡)へと向かいました。



最初の目的地「ほっさわ 弘沢の滝」を見学。
みとうさん 三頭山に源を発する秋川の支流には、多くの滝があり、ここがその一つで「日本の滝100選」にも数えられています。深い緑に覆われ全容は見えませんでした。参加者はハイキングを楽しみながら「大蛇が棲む淵」に到着し、その雄大な眺めと、束の間の涼を楽しむことができました。お昼には、「三頭山荘」で季節の山菜15品目を中心とした昼食をいただきました。その後、皆さん特産物をお土産に買い求められました。

三頭山とは、戦国時代、武蔵・甲斐・相模の国境に位置していて、当時はその地区同士の争いが多く、その地区を治めるために「頭(代表者)」を

決めて治めていたそうです。

「三つの頭」とはそのなごりで、武蔵・甲斐・相模の頭が年に一度この山に集まり、その年のあらゆる決め事を話し合ったと言われており、その名がそのまま山の名になったそうです。

東京都にも、ひっそりしたこんな静かないところがあったのだと実感しました。

3時間ほどかかり、越谷には予定の午後5時に到着しました。

7月14日の申し込み受付では、あつという間に定員の80名に達するほど人気のある企画で、地域の皆さんの親睦が深まりました。



Festival 第8回南越谷地区

平成18年11月18日(土)午前9時30分～午後3時
19日(日)午前10時～午後3時

地域の皆さんが気軽に参加し、レクリエーションや文化活動に触れることができるイベントです。多数の参加をお待ちしています!

場所

南越谷小学校校庭及び体育館
南越谷地区センター・公民館

参加者募集中

締め切り9月30日(土)
出店・展示発表・ふれあい体験など

主催

南越谷地区コミュニティ推進協議会
越谷市南越谷地区センター・公民館

会場と主なイベント

- ★校庭
即売会、フリーマーケット、模擬店
大抽選会
その他、皆様に楽しんでいただけるイベント
- ★体育館
スポーツテストなど
- ★地区センター
利用団体による日頃の成果発表
音楽、演劇、舞踊
文芸・美術・生活文化などの発表と展示

編集後記

今夏の甲子園は印象に残った試合が多く、最後まで粘り抜く姿勢に心が熱くなりました。地域の防犯運動も定着しつつあります。思いやり・信念があれば目標に近づくことでしょう。この誌面について、皆様からのご意見と情報をお寄せいただければ幸いです。(早水)